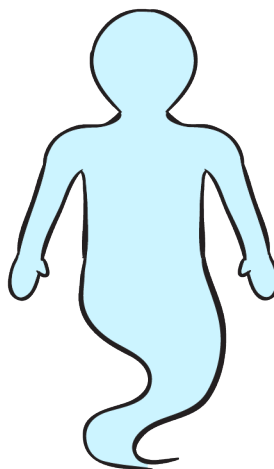
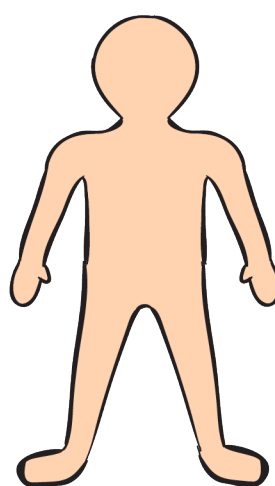




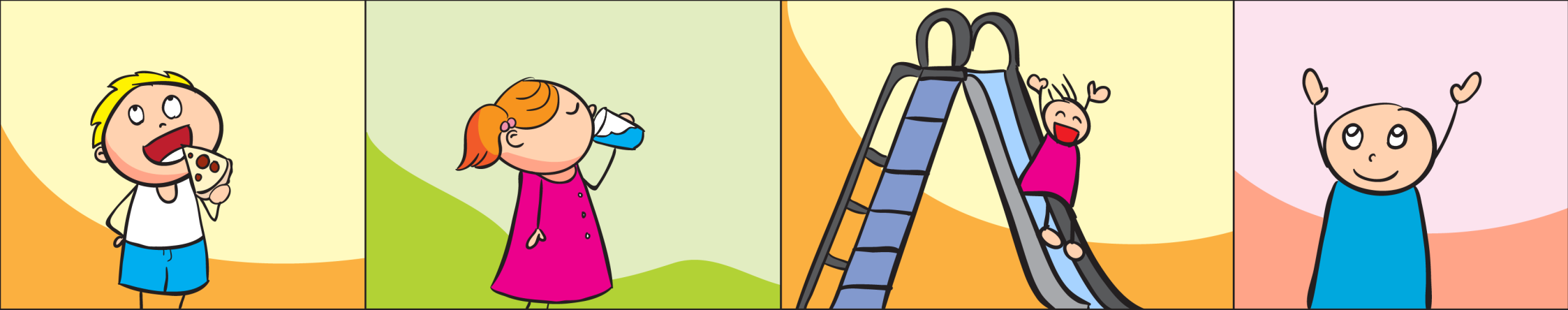
かく しん そのすべての核心にあるもの、No. 4: かみ さま わたし たち つく 神様は、どうして私達を造られたのか？

かみさま にんげん つく
神様は、どうして人間を造られたのか、その目的は何なのだろうと思ったことはありますか？
せいしょ おも
聖書には、神様が御自身の栄光のために
人間を造られたと書かれています。「すべてわが名をもってとなえられる者をこさせよ。わたしは彼らをわが栄光のために創造し、これを
し た
造り、これを仕立てた。」（口語訳聖書、イザヤ書43:7）

せんげん わたし たち じんせい かみ えいこう あらわ
このシンプルな宣言が、私達の人生が神の栄光を表すためであることを言い表しています。では、神の栄光を表すとは、どういうこと
しょうか？
つが
ここで使われている「栄光」とは、かみさま き ほま さんび
神様に帰すべき誉れや賛美のことです。御言葉には、私達はな
み こと ば
何をすることにも、神の栄光の
ためにするべきであると書かれています。また、からだ れい
体と霊をもって神に栄光を帰すようにとも書かれています。



かみ
さま
神
様
に



だから、飲むにも^の食べるにも^た、また何事をするにも^{なにごと}、すべて神の栄光のためにすべきである。^{かみ えいこう}（口語訳聖書、コリント人への第一の手紙10:31）

あなたがたは、代価^{だい か}を払^{はら}って買^かいとられたのだ。それだから、神のものである自分^{じぶん}のからだ^{れい}と霊^{れい}とをもって、神の栄光をあらわしなさい。

^{えい ご しんきんていやくせいしょ}（英語新欽定訳聖書、コリント人への第一の手紙6:20）

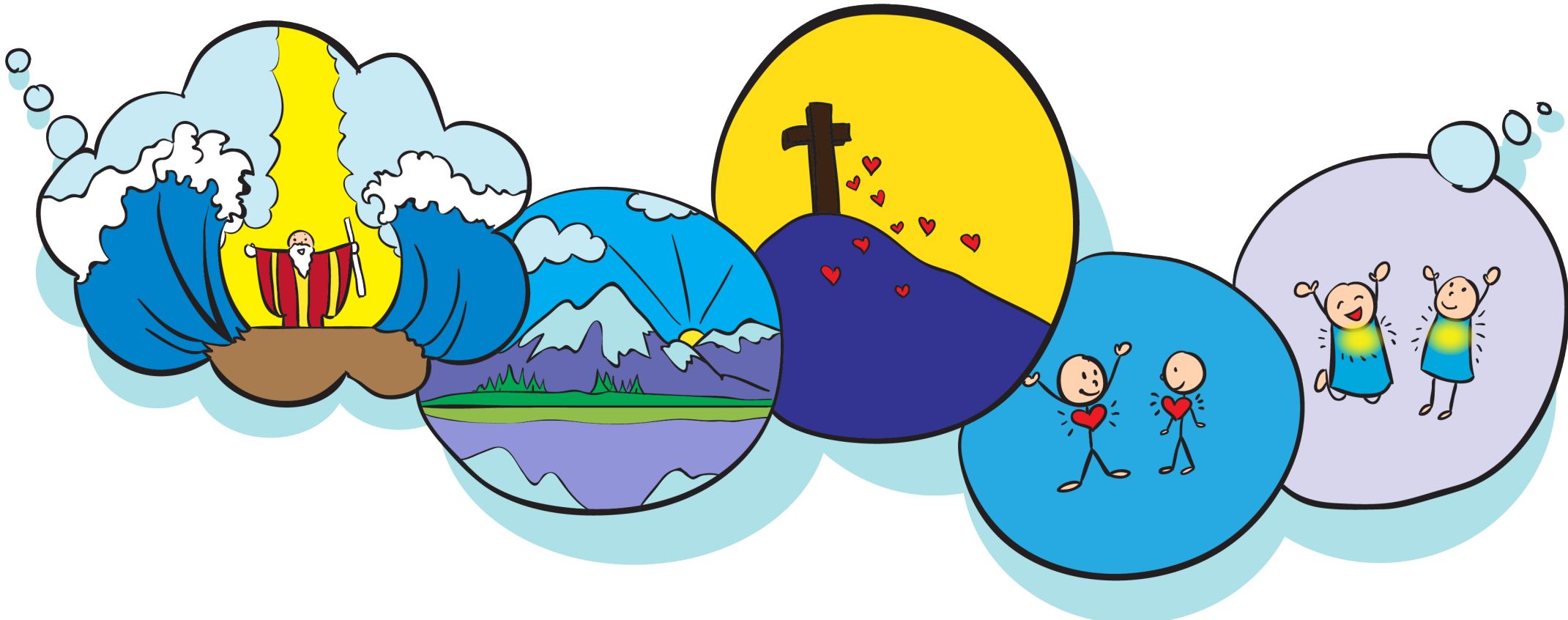
^{せいしょ}聖書には、^{からだ れい}体と霊とをもって神の栄光をあらわしなさいと書かれています。それは、^{かみ えいこう}私達^{わがしたち}の存在^{そんざい}そのものによって、
^{ないめんでき}内面的にも^{がいめんでき}外面的にも、^{ぶつしつてき}物質的にも^{せいしんでき}精神的にも、神の栄光をあらわすようにという、^{じょげん}助言^{じょげん}なのです。



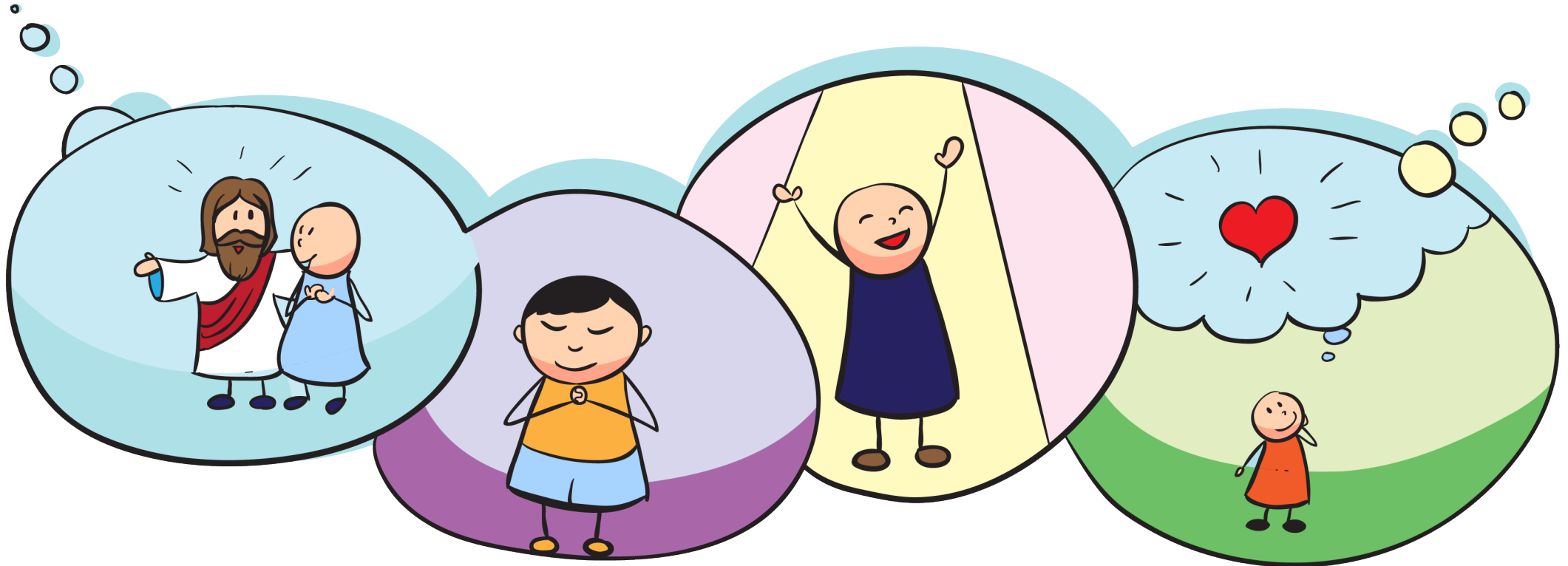
ほうほう
それには、どんな方法があるでしょうか？

ないめんてき せいかつ かみ えいこう
内面的な生活で神の栄光をあらわすには・・・

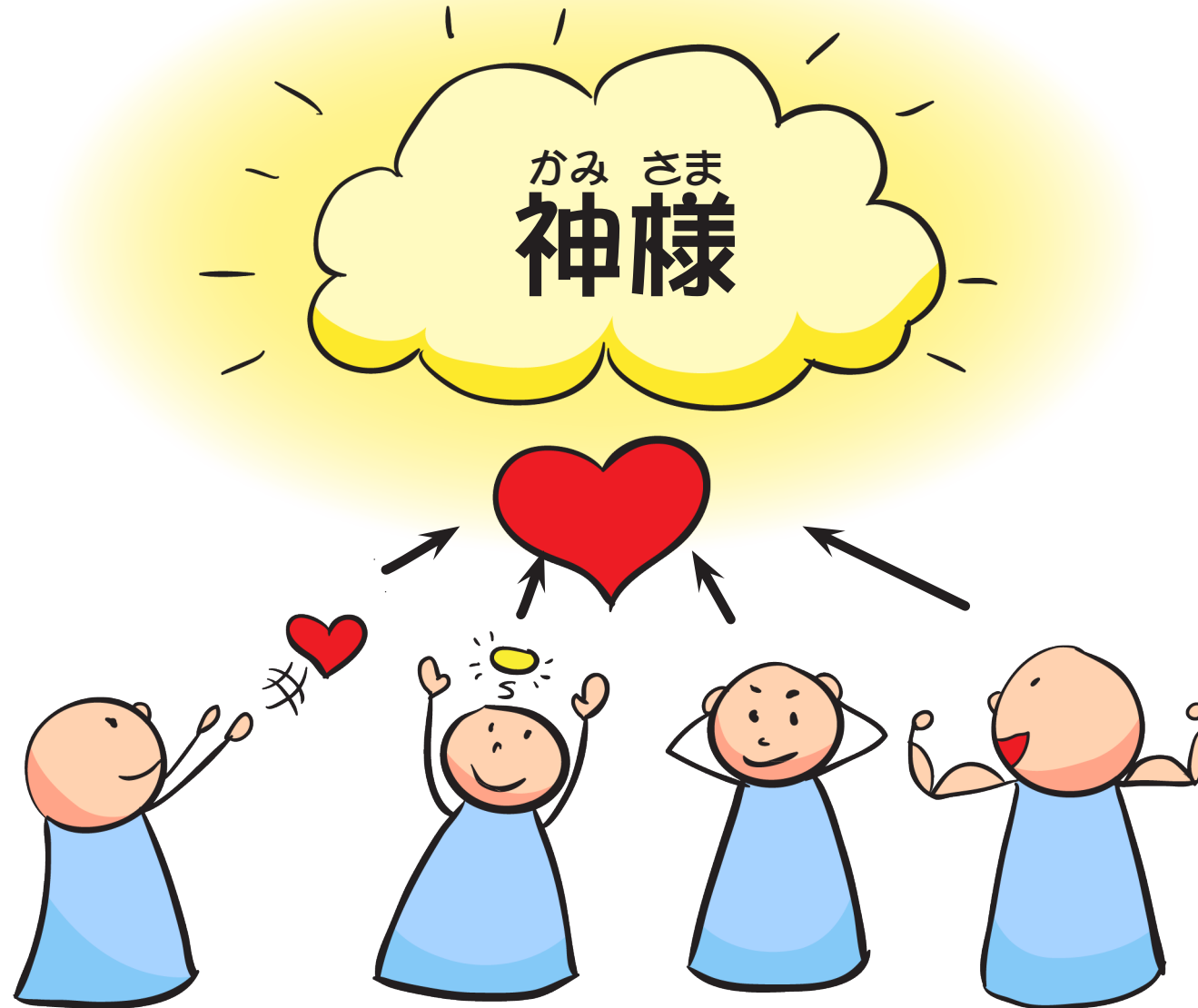
- 神様について考える。神様の性質や、神様がして下さったことを考える。
- 神様の愛と、その力について考える。
- 神様の、想像を絶するような素晴らしくて美しい被造物を見て、称賛する。
- 神様がすべての人に示して下さった、善意と愛を感謝する。
- 神様が救いを通して私達に下さった恵みとあわれみに、畏敬の念を抱く。
- 十字架にかかって下さったイエス様の犠牲を通して、私達が神様の家族の一員になれたことを喜ぶ。
- 聖霊が私達の内に宿って下さるという素晴らしさを、謙虚な気持ちで感謝する。



- 神様が人格を持った存在であると知り、私達が個人的に神様と関わることを望んでおられることを理解する。
- 神様に感謝を表し、祈りを通して神様と交わり、様々な手段で語りかけて下さる神の声に耳を傾ける。
- 神様がどんなにすごくて素晴らしくて愛にあふれる方であるかを知り、神様を賛美して、称賛と感謝と畏敬と愛を表す。
- 神が神であること、またそれが何を意味しているのかをいつも覚えておくことで、神の栄光をあらわす。つまり、神は私達を造られた至高の存在で、私達やその他あらゆるものについての全てを知っておられ、それほど感動のある方でありながら、私達を愛し、個人的な関係を持ちたいと望んでおられるということ。

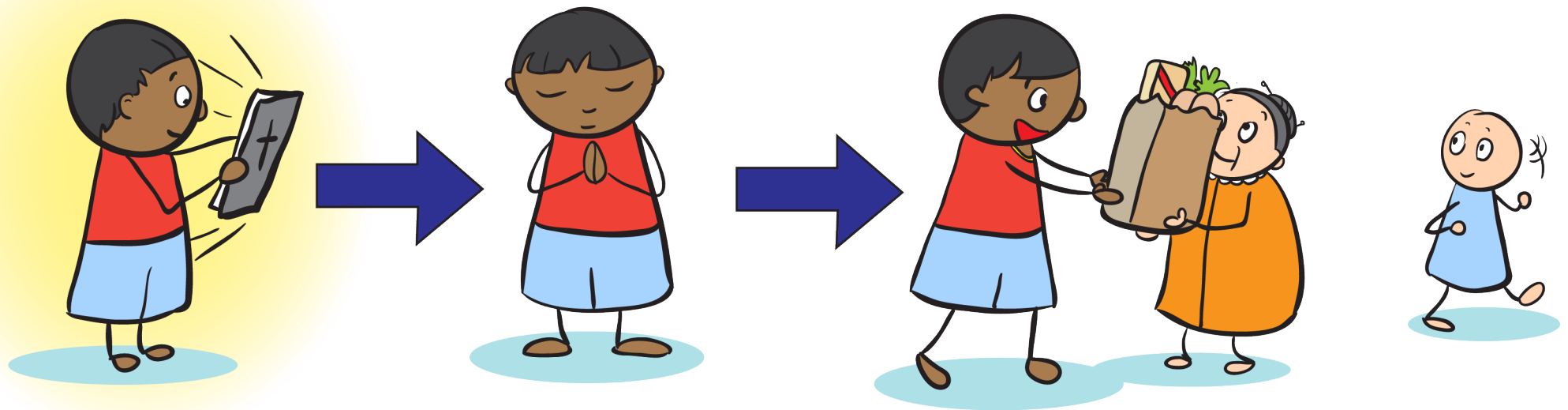


イエス様は、一番大切な戒めは何か、つまり、人間が人生で行うべき一番大切なことは何かとたずねられた時、
こう答えられました。「心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ。」
(口語訳聖書、マルコによる福音書12:30)

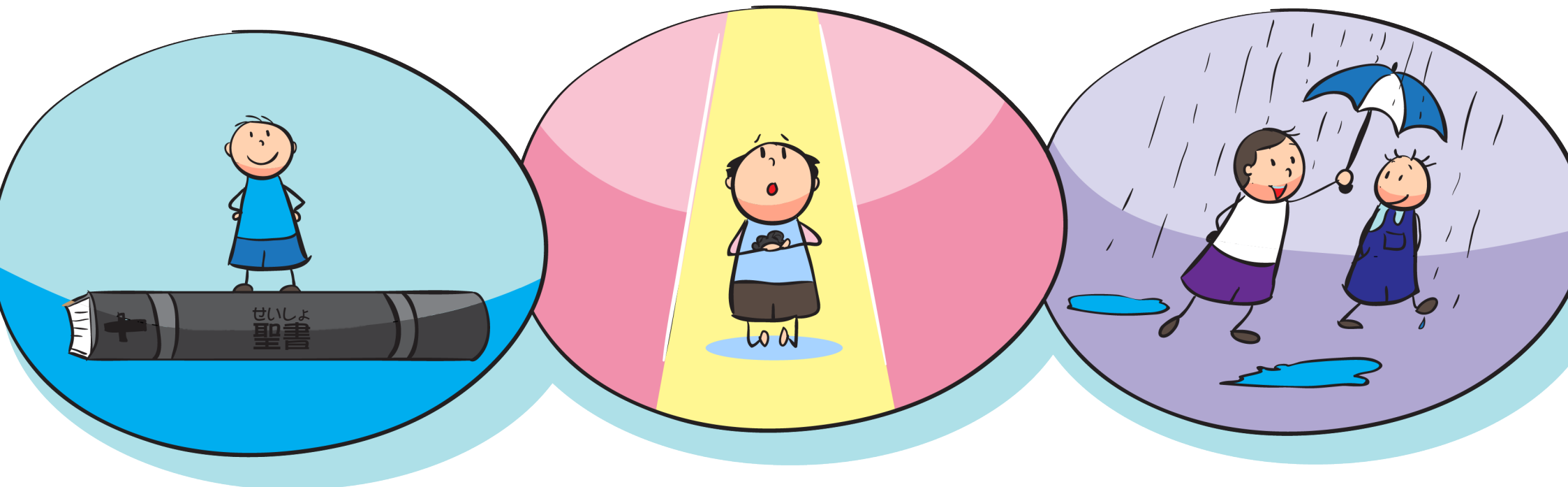


がいめんてき せいかつ かみ えいこう
外面的な生活で神の栄光をあらわすには・・・

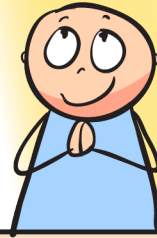
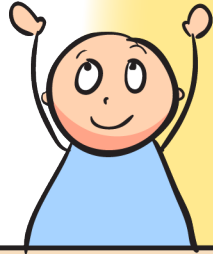
- かみ み ことば が こうどう きはん しだう
神の御言葉に書かれている行動規範に従う。
- いの とお かみさま みちび もと しめ くだ じっこう
祈りを通して神様の導きを求め、神様が示して下さったことを実行する。
- 神のあい、御言葉に書かれているげんぞく はんえい くら かた まわ ひとたち せつ かた
神の愛と、御言葉に書かれている原則を反映するような暮らし方をする。周りの人達との接し方や、
御言葉にそ 沿った暮らし方は、それを見人達に良いえいきょう あた ひとひと わたしたち おこな
影響を与える。人々が私達の行いを見て神様の愛を
かん 感じる事ができるなら、それは神様にえいこう き
帰すことになる。
- こま たす て さ の じ ぶん じ しん あた
困っている人達に助けの手を差し伸べる。自分自身を与えることで、他の人達に神様の愛ときづか
気遣いを示す。



- 自分や他の人達のために、祈って神様に助けを求める。神様に約束を果たして下さるよう求めたり、神様に導きを求めたりする時、私達は、神様の世話と気遣い、御言葉の真実性や、神の約束を信じていることを認めていることになる。
- 神様に自分の過ちを告白する。自分が間違いを犯し、神のゆるしが必要だと認めることは、神様に栄誉を帰すことになる。
- 自分を愛するように隣人を愛し、人からして欲しいと望むことを人にしてあげる。行いと真実をもって愛を示す。



しゅく ふく 祝福



かみさま えいこう ひとびと しゅくふく
神様の栄光をあらわす人々には、祝福があります。

あなたはいのちの道^{みち}をわたしに示^{しめ}される。あなたの前^{まえ}には満ちあふれる喜び^{よろこ}があり、
あなたの右^{みぎ}には、とこしえにもろもろの楽しみ^{たの}がある。(口語訳聖書、詩篇16:11)

すべて主^{しゅ}をおそれ、主の道^{あゆ}に歩む者^{もの}はさいわいである。あなたは自分の手^ての勤労^{きんろう}の実^みを食べ、
幸福^{こうふく}で、かつ安^{やす}らかであろう。(口語訳聖書、詩篇128:1-2)

かく こと み ちち むく
隠れた事^{こと}を見ておられるあなたの父^{ちち}は、報^{むく}いてくださるであろう。
(口語訳聖書、マタイによる福音書6:6)

寄稿: チェルシー・サラ、ピーター・アムステルダムによる著作の編集 絵とデザイン: 松岡陽子

出版: [マイ・ワンダー・スタジオ](#) Copyright © 2014年、ファミリーインターナショナル

“Heart of It All, No. 4: Why Did God Create Us?”—Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 神、そのすべての核心にあるもの、人間らしさ、主との関係